

総合政策部交通政策課

1 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

ア 日ノ丸自動車株式会社

区 分			路線数	補助額（単位；円）
生 活 路 線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線（広域幹線路線）	7	5 1， 2 2 9， 8 2 5
		県補助対象路線（広 域 路 線）	6	1 4， 4 1 2， 1 7 4
		単市補助対象路線（市内完結路線）	1 2	3 9， 1 1 5， 2 0 1
合 計			2 5	1 0 4， 7 5 7， 2 0 0

イ 日本交通株式会社

区 分			路線数	補助額（単位；円）
生 活 路 線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線（広域幹線路線）	1	4 9 0， 4 6 8
		県補助対象路線（広 域 路 線）	9	5 2， 0 1 9， 4 7 7
		単市補助対象路線（市内完結路線）	1 0	3 6， 1 6 7， 6 7 1
合 計			2 0	8 8， 6 7 7， 6 1 6

(2) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）だんだんコース運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ア ル ー ト 市内中心部（米子駅→大学病院→ホープタウン前→循環天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅）での一方向周りの循環運行

イ 運行回数 平日21便、土・日・祝日19便（始発8時～終発18時。30分間隔）

ウ 使用車両 ノンステップバス（34人乗り）2台

エ 停留所 32か所（市が設置）

オ 料 金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定 期 券 中学生以上1か月4,500円／3か月13,500円

小学生1か月3,000円／3か月9,000円

障がい者等1か月1,500円／3か月4,500円

回 数 券 150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円

50円券11枚綴り500円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引

キ 運行方法 市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除した額（20,632,177円）を市が補填した。

ク 利用者数 年間乗車人員91,499人

一日平均251.4人、一便平均12.4人（幼児を含む。）

(3) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）歴史コース・まちなかコースの実証運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの実証運行（令和3年12月より運行開始）を実施した。

令和6年3月に、歴史コース・まちなかコース専用の新車両（小型バス1台）を取得し、令和6年4月からの本格運行への移行に合わせて走行を開始する予定。

ア ル ー ト	歴史コース（1周26分）とまちなかコース（1周24分）を交互に運行。 【歴史コース】米子駅→米子城前→大学病院→まちなか観光案内所入口→寺町通り→高島屋前→米子駅 【まちなかコース】米子駅→西部総合事務所前→高島屋前→大学病院→米子駅
イ 運行回数	平日19便、土・日・祝日17便（始発8時45分～終発17時45分）
ウ 使用車両	小型バス1台
エ 停 留 所	21か所
オ 料 金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
定 期 券	中学生以上1か月4,500円／3か月13,500円 小学生1か月3,000円／3か月9,000円 障がい者等1か月1,500円／3か月4,500円
回 数 券	150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円 50円券11枚綴り500円
カ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引
キ 運行方法	市とバス事業者が協定を結び、運行経費から運賃収入を控除した額（13,118,357円）を市が負担し、運行した。
ク 利用者数	年間乗車人員16,806人 一日平均46人、一便平均2.5人（幼児を含む。）

(4) 米子市淀江町巡回バス（愛称「どんぐりコロコロ」）運行

路線バスの廃止代替として、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。また、令和5年4月より停留所の新設（ラピスパ温泉）を行った。

ア ル ー ト	便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオンモール日吉津等を巡回（1便当たりの所要時間 17分～1時間4分）
イ 運行回数	平日・土曜10便、日曜・祝日運休（始発7時50分～終発16時00分）
ウ 使用車両	マイクロバス（29人乗り）1台、マイクロバス（23人乗り）1台
エ 停 留 所	57か所（市が設置）
オ 料 金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
定 期 券	中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円 障がい者等1か月1,500円
回 数 券	150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円 50円券11枚綴り500円
カ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引
キ 運行方法	市が市町村運営有償運送にて、バス事業者に運行を委託し、運行経費

(11,037,215円)を委託料として支払った。

ク 利用者数 年間乗車人員7,504人

一日平均25.5人、一便平均2.6人(幼児を含む。)

(5) その他バス路線負担金

米子市内を運行している、安来市広域生活バス「イエローバス」に1,293,000円を運行負担金として支出を行った。

(6) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

ア 構成 学識経験者1名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、鉄道事業者1名、道路管理者1名、住民又は利用者の代表4名、運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、県職員1名、市職員3名、公募委員2名、その他市長が認める者1名 計20名

イ 開催日 令和5年9月26日、令和5年12月21日(書面審査)、
令和6年2月7日、令和6年3月28日(書面審査)、

(7) 高齢者バス運賃助成事業

高齢者のバス利用を支援するため、高齢者バス定期券「グランド70」の購入費用を助成。

ア 米子市に在住の満70歳以上の方に対し、「グランド70」を半額の13,100円で販売し、定価(26,200円)との差額を助成。

実績件数 471件 交付金額 6,170,100円

イ 運転免許を自主返納してから1年以内の、米子市に在住の満70歳以上の方に対し、「グランド70」を1,000円で販売し、定価(26,200円)との差額を助成。

実績件数 134件

交付金額 3,376,800円

(8) 高校生通学費助成事業

遠距離通学をする高校生等の保護者等に対し、1ヶ月あたりの通学費が7,000円を超えた額について支援を実施した。

実績件数 61件

交付金額 1,545,494円

(9) バス割引乗車券配布事業

バスの利用促進を目的として、米子市文化財団(米子文化ホール、米子市公会堂等)が催すイベントやフレイル対策推進事業等に参加された方に、市内を発着する日ノ丸自動車(株)と日本交通(株)が運行する路線バスの運賃から割引をするバス割引乗車券を配布した。(おとな用は200円割引、こども用は100円割引)

配布枚数 820枚

使用枚数 おとな447枚 こども3枚

負担金額 89,700円

(10) ノーマイカーデー(令和5年度名称:路線バスに乗っていこう!キャンペーン)

路線バスに半額で乗車できるキャンペーンを実施し、通勤・通学・レジャーにおける路線バスの利用促進を図った。令和5年度は参加者条件および曜日を拡大・選択可能(参加者が選択した曜日と土曜日、日曜日)とした。

○実施期間 令和6年3月1日～令和6年3月31日まで

○参加実績 264名

2 鉄道関係

- (1) 中国横断新幹線の整備を推進するため、「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」を通じて、広報・要望活動を行った。また、新幹線PR看板を大山圏域7町村に設置した。
- (2) 山陰を縦貫し北陸及び近畿を結ぶ超高速鉄道の建設着手推進を目的とする「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」を通じて要望活動を行った。
- (3) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。
- (4) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本山陰支社との調整を行った。
- (5) JR淀江駅前公衆便所の維持管理を行った。

3 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市と共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、JR境線米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 令和5年度の米子空港利用者数は、国内線が53.5万人であった。令和元年と比較しても92.8%と、回復をみせている。国際線は、ソウル、台湾、香港からのインバウンドチャーターがあり7,184人の利用があった。
- (3) 大阪航空局に対して、米子空港の国内定期路線の充実と国際化の促進に関する要望活動を実施。
- (4) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。

ア 旅行会社と連携した各種旅行商品の造成及びPR

鳥取県や、中海・宍道湖・大山圏域市長会等と連携し、東京便旅行商品造成及び閑散期対策を実施した。

イ 新聞雑誌等によるPR

新聞、雑誌、ラジオ、テレビ番組等により路線や旅行商品についてPRを行った。

4 交通全般

- (1) 米子市公共交通機関時刻表「のりものガイド」発行

令和5年4月1日現在の米子市を発着する路線バス、高速バス、飛行機などの時刻をまとめた小冊子を、株式会社サイネックスと共同発行した。

ア 配布開始日 令和5年5月11日

イ 発行部数 5,850部

【主な配布先】米子市転入者、市役所施設内、日本交通米子駅前バスターミナル、一部のバス車内、各地区公民館、米子市観光センター等

- (2) Y-MaaS事業

ア わいわいパス（米子地域バス乗り放題電子チケット）販売・運用

米子広域圏（米子市、安来市、境港市、西伯郡、日野郡）の路線バス、コミュニティバスの利用促進を目的として、スマホによる電子チケット販売・運用を行った。なお、令和4年1月1日に始まった実証実験は令和5年3月31日で終了し、令和5年度からは本格実施となっている。

(ア) 実施期間

令和5年4月1日から

(イ) 実施内容

路線バス（日ノ丸自動車、日本交通）とコミュニティバス（米子市だんだんバス・どんぐりコロコロ、安来市イエローバス）が1日乗り放題となる電子チケット（愛称「わいわいパス」）を販売し、運用した。

(ウ) 実施方法

日ノ丸自動車、日本交通、米子市、安来市の4者で米子地域M a a S協議会を設置し、RYDE株式会社のスマートフォンアプリ「RYDE P A S S」上で、販売、運用を行った。

(エ) 電子チケットの種類

米子広域1日券	おとな1,000円／こども500円	平日の午前10時までは利用不可
米子市内1日券	おとな600円／こども300円	

(オ) 購入実績（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

○件数・人数

	件数	おとな	こども
合計	515件	526人	7人
米子広域1日券	234件	241人	4人
米子市内1日券	281件	285人	3人

○購入代表者の年代・性別（単位：人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
合計	9	32	33	91	144	164	42	515
男	5	14	12	27	27	115	40	240
女		13	13	15	86	23	2	152
不明	4	5	8	49	31	26		123

○購入代表者の居住地

鳥取県276人、東京都16人、島根県13人、神奈川県13人、大阪府12人、広島県4人、福岡県4人、兵庫県3人、香港3人、京都府2人、愛知県2人、埼玉県2人、海外1人、その他12人、不明152人、合計515人

(カ) 利用実績（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

	日ノ丸自動車	日本交通	イエローバス	だんだんバス	どんぐりコロコロ	合計
合計	1,262回	402回	39回	102回	3回	1,808回
米子広域	573回	194回	37回	46回	2回	852回
米子市内	689回	208回	2回	56回	1回	956回

(3) よなご公共交通ふれあいフェスタの開催

公共交通とその利用促進をテーマとした「第2回よなご公共交通ふれあいフェスタ」を9月24日（日）に米子コンベンションセンターB I G S H I Pで開催し、4,027名が来場した。

5 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

6 交通バリアフリー推進協議会関係

「米子市交通バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー推進協議会」を2回開催した。

開催日：令和5年11月21日、令和6年2月14日